

令和7年1月より時給を1200円に！只今、パート職員、募集中！

山脈はパート職員の時給を令和7年1月より1200円に改正します。ついては来年1月から働ける方を募集しています。詳しい仕事内容、給与、待遇等については法人事務局までお問合せください。

1. みやま工房（就労継続支援B型） ①法人事務局事務員、②就労支援スタッフ

【仕事】①経理、労務、庶務など法人事務局業務全般
②農業（畑やビニールハウスでの野菜作り）、リサイクル事業（パソコン等の解体作業）

【勤務】①、②ともに、9時～16時（昼休憩1時間あり）

【休日】土曜日・日曜日・祝日

2. キッチンハウスみやま（就労継続支援B型） 就労支援スタッフ ①厨房業務、②配達業務

【仕事】①お弁当作り（調理、配膳など）
②お弁当のルート配達

【勤務】①8時～12時、3～4時間程度の勤務

②10時～12時、2時間程度の勤務

【休日】土曜日・日曜日・祝日

3. ハーモニーやまなみ（グループホーム） ①サービスマネジメント、②世話人

【仕事】①サービスマネジメント 入居者の個別支援計画の作成、日中の入居者支援他
②世話人 食事提供、衛生管理、健康管理、金銭管理、相談支援、記録等

【勤務】①9時～17時（昼休憩1時間あり）※正規職員登用のチャンスあり、資格手当あり

②7時～10時、15時～19時の1日7時間勤務 ※中抜け勤務 月15日程度出勤

【休日】①土曜日・日曜日・祝日

②毎月、ローテーションによるシフト勤務

令和6年度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 賢一

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npoyamanami.jp

URL：<http://www.npoyamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

きょうされん第48次国会請願署名・募金運動全国キャンペーンが始まります！

今年も12月を迎え、きょうされんの国会請願署名・募金運動の季節がやってきました。きょうされんは、旧称を「共同作業所全国連絡会」と言い、障害のある人たちが「働く・活動する」事業所をはじめ、グループホーム、相談支援センターなど、約1830カ所の事業所が会員となっています。きょうされんは発足当時より毎年、障害のある人たちの暮らしをゆたかにするための制度の拡充を求め、署名運動を行い、今回で48回目です。この国会請願署名・募金運動全国キャンペーンは来年の4月まで行われますので、多くの方に請願趣旨と請願項目についてご理解・ご協力を賜りたいと思います。詳細はきょうされん群馬支部の事務局(山脈)までお問い合わせください。

優生保護法は憲法違反！

先の優生保護法の違憲裁判に於いて、きょうされんは他の障害関連団体とともに中心となって運動し、「優生保護法は立法時点において憲法違反であった」という最高裁大法廷での判決に大きく寄与しました。今後は国会の謝罪決議と補償法を広く国民に周知し、被害にあった人の人権回復、優生思想や障害による差別や偏見をなくすことをきょうされんは国に要求して行きます。

「他の者との平等」を実現するために、実態にもとづいた要求運動！

また、きょうされんは独自に様々な調査を実施しており、2023年の「障害のある人の地域生活実態調査」では、不十分な所得保障や家族依存の実態が依然として障害のある人の「他の者との平等」を阻んでいることを明らかにしました。また、障害のある人を支える事業所も、危機的な職員不足と、基本報酬の低さ、追い打ちをかける物価高やコロナ対応などで悲鳴を上げている状況にあります。きょうされんはこうした実態に即した調査結果をもとに国に対し請願署名等を通じ要求運動を続けてきました。

第48次国会請願の請願趣旨

2024年7月3日、優性保護法被害者が勝ち取った最高裁大法廷での勝訴判決と、それをもとに交わした国と訴訟団の基本合意書、そして国会の謝罪決議と補償法の成立は、日本の社会保障・障害施策史上かつてない意義をもつものでした。この勝訴判決は、同法被害者の人権を回復・補償するだけでなく、優生思想や障害による差別や偏見の根絶に道を開くものです。

しかしながら、多くの障害のある人たちは、長期にわたって厳しい生活水準を強いられ、昨今の物価高は、深刻な事態を招いています。また、障害福祉分野の職員不足は、もはや危険水域に達しています。能登半島の障害のある人やその支援者は、これらの困難とともに震災と豪雨災害によって、二重三重の苦難を強いられています。

障害者権利条約が求める「他の者との平等」を実現するために、優生思想の克服や障害福祉予算をOECD諸国の平均並みに増大することは、日本政府の喫緊の課題といつて過言ではありません。

障害のある人の人権を守り、安心した生活が送れるよう、以下要望します。

第48次国会請願の請願項目

1. 優生思想や障害による差別や偏見を根絶するために、国は責任をもって、国会の謝罪決議と補償法をひろく周知し、優生保護法問題を全面的に解決してください。
2. 障害のある人の生活水準を「他の者と平等」にするために、障害年金を大幅に引き上げるとともに、家族依存から脱却できるための福祉制度を拡充してください。
3. 事業の存続が危ぶまれる職員不足を解決し、障害のある人への支援を安定させるために、障害報酬の時間払いと日額払いをただちに見直し、基本報酬を大幅に拡充してください。
4. 障害のある人や子どもの障害福祉事業や補装具等の自己負担をただちに廃止してください。
5. 障害のある人が65歳になっても、自己負担なく、必要な支援を自ら選べるようにしてください。
6. 欠かせない役割を果たしている地域活動支援センターについて、国は実態を調査し、安定して運営・支援できるよう、国の責任で制度を拡充してください。

きょうされん第47回全国大会 in しがに参加してきました！

11月8日（金）、9日（土）の二日間、滋賀県の草津市にある YMIT アリーナを中心にきょうされんの「第47回全国大会 in しが」が開催されました。山脈からは、みやま工房、キッチンハウスみやま、ハーモニーやまなみからそれぞれ1名の職員が参加しました。また、群馬支部からは、桑の実福祉会さんからも2名が参加し、計5名で早朝に群馬を車で出発し、6時間以上かけて現地入りしました。

山脈から参加した3名中、2名はきょうされんの全国大会の参加は初めてです。「仲間が主役！仲間を活動の中心に！」をモットーするきょうされんの雰囲気を肌で体感することができ、大いに活力を貰ってきたようです。



同じ目的を持つ人達の集まりってすげえなー

初めてきょうされん全国大会に参加させてもらい感じたことは、「同じ目的を持った人達の集まりってすげえなー」と思いました。

障害があるなしを問題としない雰囲気とか、本当に参加しなければ味わえない雰囲気は勉強になりました。

今回、私は当事者の気持ちで参加しました。心構えとして、聞きたいこと、悩んでいることをひとつずつ用意して、「必ず答えを見つけてくるぞ！」という気持ちでした。

二日目の精神疾患の研修で、その話をする機会がきて、答えはできたので、これをどう活かせるかわかりませんが、頑張ろうという気持ちになりました。

これは、今までの生活では得ることのできないことなので、とてもいい経験になりました。

群馬に帰ってきて思ったことは、話をしたことでスッキリしたわけじゃないですが、気持ち的に前向きになれた「自分」がいることにびっくりしました。

(キッチンハウスみやま 戸部篤)

創ろうみんなであたりまえの未来を

今回の大会は、今年1月に起きた「能登半島地震」と、7月3日に下された「旧優生保護法の最高裁での違憲判決」が大きく取り上げられていました。良くも悪くも、今年は障害者福祉における歴史の大きな転換期を迎えていると感じています。

今回の大会のスローガンには「創ろうみんなであたりまえの未来を」という文言があり、大会中にも説明がありましたが、今までは国が動いて政策を変えることで未来が良くなることを夢見る状況でしたが、これからは「自分たちで未来を創る」という流れが今大会を通して生まれていました。自分もいずれはきょうされんを通して、障害者福祉の発展に寄与できるようになりたいです。大会には当事者、支援者、ボランティア含めた地域の方々がたくさん参加をしており、大会を通して繋がりができたことがとても嬉しかったです。

2日目の分科会にて、支援者の方同士で語り合う場がありました。支援の困難さについての内容が多いなかで、ある人が「大変なこともあるけど、仕事は楽しい」と、実際に自分の体験を話してくださった場面がありました。それを聴いて、最近の自分は忙しさに追われ、仕事を楽しむという気持ちを忘れていたように感じました。とても大切なことに気づかせてくれた大会でした。

(ハーモニーやまなみ 安田朋輝)



今より少し幸せになれるヒント！

職員さん、当事者さん、メンバーさんが同じ場所で、一緒になって同じことをする大切さを強く感じました。

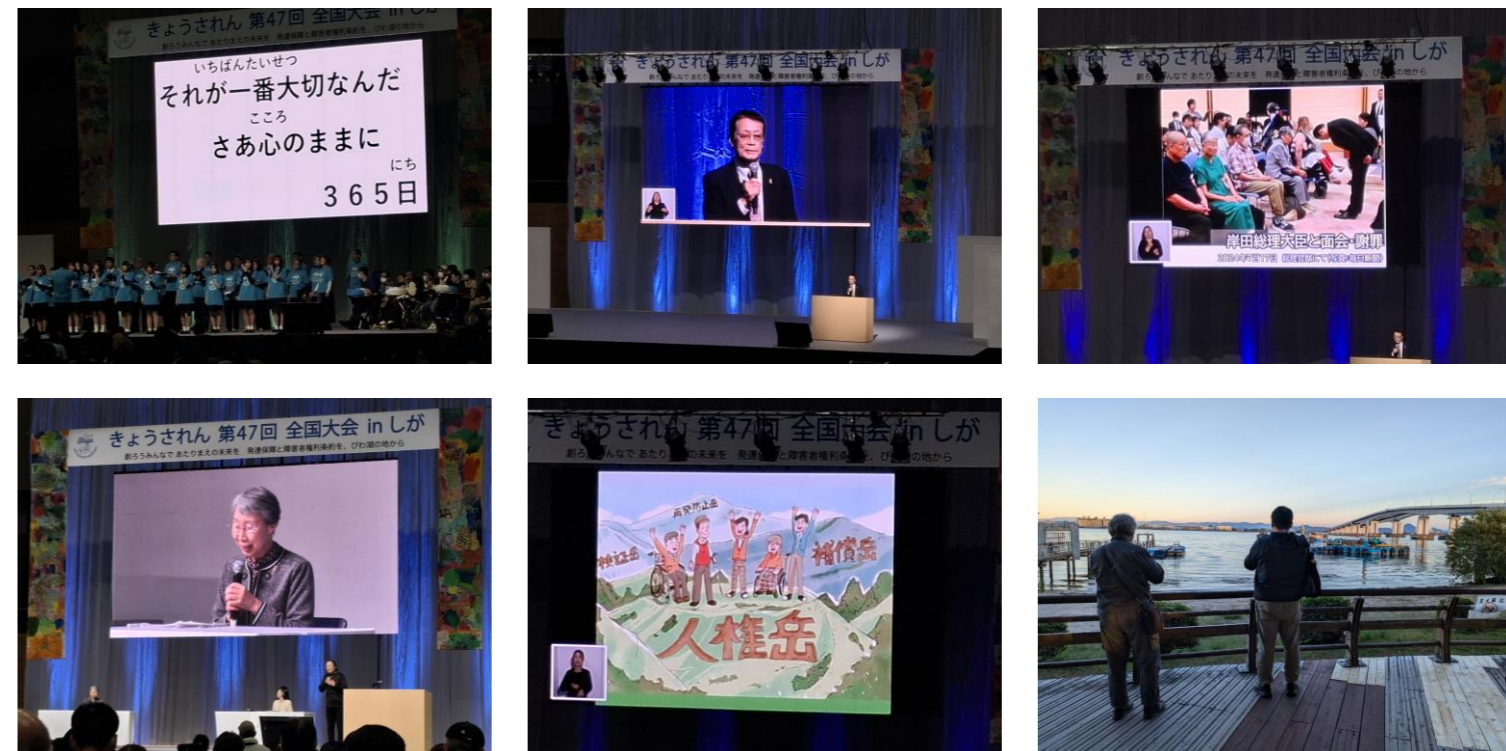
2日目、「精神障害のある人への支援」という分科会に参加した時、グループワークの同じ班の中にいたメンバーさんが、「職員の方の考えや意見を聞けてとても良かった」とおっしゃっていました。私も同じように、それぞれの立場の人の話を聴けたことに感銘を受けていました。

それぞれの立場の人が、同じ場所で同じことをし、互いに相手を知ろうとし、助け合いながら、目標に向かっていく。また、一緒に過ごして、少しでも幸せになることが小さい6人の班の中で出来ていました。

社会の中でも、立場に関係なく、全ての人が今よりも少し幸せになれるヒントのように感じました。

今日からでも、私はみんなとともに少しでも幸せになれるよう一緒に過ごしていきたいです。

(みやま工房 唐澤 到)



第48回は奈良、第49回は大阪、そして、節目の第50回は東京で開催！

きょうされんの全国大会は結成当初より、毎年開催され、今年で47回目の開催です。今後、来年には奈良で第48回を、再来年には大阪で第49回を予定しています。そして、節目となる第50回大会はいよいよ東京で開催されます。

記念すべき東京大会には、山脈もメンバーさん達と一緒に大勢で参加したいと思います。そして、みんなと一緒にきょうされんの精神を肌で感じ、楽しんできたいと思います。